

高次脳機能障害情報・支援センター

高次脳機能障害情報・支援センターは、高次脳機能障害に対する総合的な支援を行い、高次脳機能障害支援拠点機関を含めた医療・福祉サービス等の向上を目指します。

高次脳機能障害情報・支援センターの役割

(1) 関連情報の収集、整理、発信

高次脳機能障害支援に関する施策や国内外の情報を収集し、整理して発信します。

(2) 調査研究

各種支援プログラムの成果を検証し、よりよいものに改正します。

(3) 研修

支援拠点機関の職員等に対し、支援技術習得に関する研修を実施します。

(4) 普及啓発

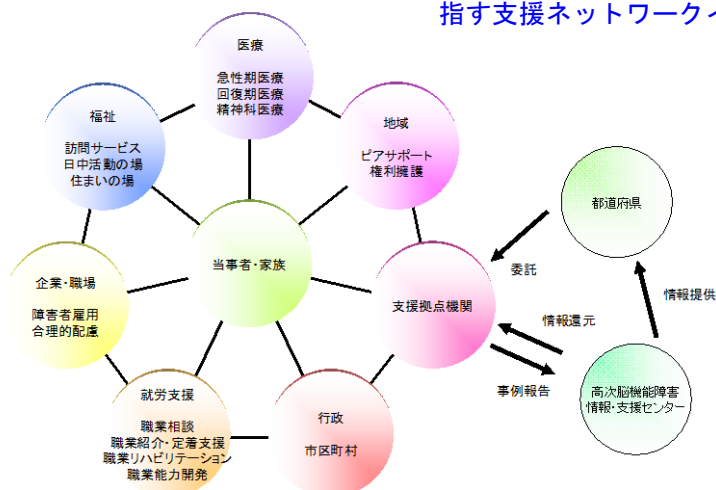
高次脳機能障害について、一般国民にはわかりやすく、専門職には詳細に解説をします。

また、シンポジウム通じて普及啓発に努めます。

(5) 関連機関との連携

全国連絡協議会等を開催し、各都道府県の高次脳機能障害支援拠点機関と連携して、地域における支援の充実を図ります。

高次脳機能障害情報・支援センターが目指す支援ネットワークイメージ



高次脳機能障害とは・・・



ケガや病気により、脳に損傷を負うと、次のような症状がでることがあります。



記憶障害

- 物の置き場所を忘れる。
- 新しいできごとを覚えられない。
- 同じことを繰り返し質問する。

注意障害

- ぼんやりしていて、ミスが多い。
- ふたつのことを同時に行くと混乱する。
- 作業を長く続けられない。

遂行機能障害

- 自分で計画を立ててものごとを実行することができない。
- 人に指示してもらわないと何もできない。
- 約束の時間に間に合わない。

社会的行動障害

- 興奮する、暴力を振るう。
- 思い通りにならないと、大声を出す。
- 自己中心的になる。

これらの症状により、日常生活または社会生活に制約がある状態が
高次脳機能障害です。

当センターは、平成 23 年 10 月 1 日に国立障害者リハビリテーションセンター内に設置されました。Web サイト (<http://www.rehab.go.jp/>) を開設し、リニューアルを予定しています。

問合せ先

高次脳機能障害情報・支援センター
04(2995)3100 内線2594